

財政状況等一覧表（平成21年度決算）

(単位:百万円)

団体名 白石市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
4,831	4,220	520	9,572

端数処理の関係により、内訳と合計が一致しない項目がある。

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	15,393	14,964	429	396	910	11,924	
一般会計等	15,388	14,959	429	396		11,924	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	834	917	83	562	16	1,252	0	法適用企業
下水道事業会計	837	851	14	71	401	12,056	7,523	法適用企業
地方卸売市場事業特別会計	10	2	8	8	-	-	-	
国民健康保険特別会計	4,284	3,986	298	298	437	-	-	
老人保健特別会計	27	23	4	4	3	-	-	
介護保険特別会計	2,686	2,590	97	97	487	-	-	
後期高齢者医療特別会計	329	325	5	5	94	-	-	
公営企業会計等 計				1,045		13,308	7,523	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。

2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。

3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。

4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
宮城県市町村職員退職手当組合	18,239	18,115	124	124	1,285	-	-	
宮城県市町村非常勤消防団員補償費償還組合	849	844	5	5	-	-	-	
宮城県市町村自治振興センター	136	132	4	4	-	-	-	
宮城県後期高齢者医療広域連合	210,965	204,900	6,066	6,066	7,483	-	-	
うち一般会計	1,980	1,951	29	29	135	-	-	
うち宮城県後期高齢者医療事業会計	208,985	202,949	6,037	6,037	7,348	-	-	
白石市外二町組合	4,654	5,233	578	723	1,412	11,431	6,550	
うち一般会計	4	4	0	0	-	-	-	
うち公立刈田総合病院事業会計	4,650	5,229	578	723	1,412	11,431	6,550	法適用企業
仙南地域広域行政事務組合	4,484	4,412	72	70	54	1,376	283	
一部事務組合等 計				6,992		12,807	6,833	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
白石市土地開発公社	0	264	20	-	499	-	-	-	
(財)白石市文化体育振興財団	7	822	200	-	-	-	-	-	
地方公社・第三セクター等 計			220	-	499	-	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄に当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,582	1,750	168
減債基金	788	790	2
その他充当可能基金	4,209	3,328	881
充当可能基金 計	6,580	5,867	713

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成20年度 決算 A	平成21年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	4.06	4.13	0.07	13.41	20.00	水道事業会計	-	-	-
連結実質赤字比率	14.75	15.04	0.29	18.41	40.00	下水道事業会計	-	-	-
実質公債費比率	12.6	12.0	0.6	25.0	35.0	地方卸売市場事業特別会計	-	-	-
将来負担比率	43.4	48.1	4.7	350.0					
財政力指数	0.48	0.48	0.0						
経常収支比率	95.4	90.7	4.7						

(注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。

2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。

3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。

4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成21年度決算における基準である。